



土中の絆

土成中学校通信

R4年度 No.4

5月2日発行

5月

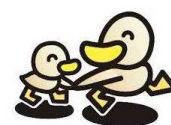
子どもたちはこうして生き方を学びます



保護者の皆様から、よく子育ては難しいという話を聞きます。「親の話を無視してまったく聞かない」、「子どもとケンカばかりしている」など、思い描いていたとおりに育ってくれない嘆き節を聞くことがあります。そして、子育てに迷っているという話を聞きます。そんな時、私は保護者の方に次の詩を紹介することになっています。私も自分の子育てが上手くいかず悩んでいた時、この詩に出会って目から鱗が落ちました。結局、子どもが上手く育っていない原因は、実は自分、親にあるのだと気づかされたからです。それ以来、子どもに対する接し方が変わり、親子関係がとても良好になりました。

「子どもたちはこうして生き方を学びます」

批判ばかり受けて育った子は 非難ばかりします
 敵意にみちた中で育った子は だれとでも戦います
 ひやかしを受けて育った子は はにかみ屋になります
 ねたみを受けて育った子は いつも悪いことをしているような気持ちになります
 心の寛大な人の中で育った子は がまん強くなります
 はげましを受けて育った子は 自信を持ちます
 ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知ります
 公明正大な中で育った子は 正義心を持ちます
 思いやりのある中で育った子は 信仰心を持ちます
 人に認めてもらえる中で育った子は 自分を大事にします
 仲間の愛の中で育った子は 世界に愛をみつけます



「ドロシー・ロー・ノルト 作、吉永 宏 訳」

もちろん、私たち教職員一人ひとりも、この詩に込められた意味をしっかりと認識して、子どもたちの教育に取り組んでいます。土成中学校の生徒たちが、思いやりや愛情にあふれた中で育つよう毎日の教育活動を行っています。子どもたちが心豊かに育つためには、学校や家庭、地域がばらばらに取り組むのではあまり効果が上がりません。強力にスクラムを組んで取り組んでいくことが重要になります。家庭や地域の皆様、歩調を合わせて共に子どもたちを育てていきましょう。



〈スクラムを組んで〉